

町長	助役	課長	主幹	担当	合議

別記様式第4号

会議等結果報告書			
会議区分	会議 ・打合せ・協議	文書番号	460
		決裁期日	平成18年5月31日
名称	(5月定例)課長会議		
日時	平成18年5月31日 午前9時00分～11時30分		
場所	上富良野町役場3階 第3会議室		
出席者	別紙名簿のとおり 町長・助役、課長職12人(内代理2人)、事務局1人		合計15人
内容	町長あいさつ		
	・新年度に入り2ヶ月を過ぎ、本日を以って平成17年度の会計が閉鎖されるので最終の点検をお願いします。		
	・各所管においては課題を持っていると思うが、早期に所管委員会等議会への情報提供や協議を行い、円滑な事務事業推進に努めてもらいたい。		
	・5月28-29日の大風で、ハウスの損傷等の農業被害や個人住宅、公共施設にも被害が発生しているので、状況の把握と適切な対応を図ってもらいたい。		
	・本日議案にもあるが、6月定例議会の上程案件がほぼ決まったので、所管委員会、本会議の対応をよろしくをお願いします。		
	以下助役が議長として会議が進行された。		
	1 6月定例町議会の提出議案について【総務課】 <別添資料参照>		
	総務課長：資料として添付してあるとおり、予算補正8件、条例案件3件、財産取得と契約案件4件の15議案と、報告3件を予定している。所管委員会を含めて議会対応に遺漏がないようお願いする。		
	議会事務局長：6月月間行事予定表にあるとおり、先日の議会運営委員会で6月5日産建、6月7日厚生、6月12日総務文教、6月14日議員協議会と日程が決定している。また、本会議は20～22日の3日間を予定しているが、昨年6月定例の状況を見ると、一般質問が8名までならば1日日程で済む可能性が大きいので、結果としては20・21日の2日間になる公算が大きい。		
	助役：議案第12号は農業開発公社に整備事業を委託するものだが、工事の請負契約		

内 容	<p>に相当と判断して議決を得るもの。また、この委託により取得した成果物を農家に譲与する事業内容であるため議案第13号で取得と処分の議決を得るものである。</p>
	<p>2 職員提案奨励の件【総務課】 <別添資料参照></p>
	<p>総務課長：5月1日の課長懇談会で意見をもらった結果を受けて、5月19日を提出期限として全課長職から提案要望を取りまとめた。結果は添付のとおりであり、各課長等から提案要旨を説明してもらう。</p>
	<p>各課長要旨説明：添付要望取りまとめにより説明(要旨説明内容省略)。</p>
	<p>助役：提案のとおり延べ12人の要望があったが、類似する内容のものは精査して、職員から提案募集し実行プランを求める。課長職については、この課長会議において意見・提案を出し合いながら横断的な事務事業調整を行うものとして、更に、今後とも提案要望については断続的に取り組んでいく。今回の取りまとめ結果は提案テーマとして示し、その他の提案も含めて募集するので、職員に声かけと取り組みの徹底をお願いする。</p>
	<p>町長：平成18年度の「一職員一提案」の取り組みについては、年度当初に私の方針として表明したところである。提案のなかった職員については、年度終了後にそれぞれに聞くつもりである。必ず一提案提出を趣旨として取り組んでもらいたい。</p>
	<p>3 一般会計補正予算(第2号)の概要について【企画財政課】 <別添資料参照></p>
	<p>企画財政課長：平成18年度一般会計の補正内容は添付資料のとおりとなっている。出納閉鎖後の決算ベースで平成17年度予算残額が206百万円あり、予算残2百万円以上が18事業(給与費と予備費を除いても16事業)と異常な結果となっている。12月、3月の補正において不適切な措置があったものと考えている。</p>
	<p>助役：執行残については、定例議会や事業終了後の直近臨時会などの適切な時期に、財源を返上することが必要である。12月定例議会までの補正ならば、新年度予算に反映できるものであるが、承知のとおり18年度予算は厳しい条件の下で編成してきた。</p>
	<p>町長：万円、千円単位で精査した予算編成を行い、なお不足する財源は基金支消によって確保したが、この基金支消額に相当する繰越額が発生するという事は、予算要求と予算執行がかけ離れているということであり、問題と考える。余裕のある予算要求の気持ちもあるようだが、適切な内容で積算するようお願いする。ただし、消化型の予算執行を勧めるわけではないので理解してもらいたい。</p>
	<p>助役：18年度において予算に余剰が生じたときは、適切な時期に補正するよう取り進めてもらいたい。</p>

内 容	4 その他
	行革事務局関係
	(1) 平成 17 年度行財政改革実施計画の推進実績について <別添資料参照 >
	企画財政課長：5月29日現在で集約した平成17年度の行財政改革実績を資料として添付してある。目を通してもらい、18年度についても成果の上がる取り組みを進めてもらいたい。
	教育振興課長：清富小学校廃校効果を 6,224千円の実績として掲載しているが、廃校に伴って地方交付税も減額になっている点も評価すべきである。
	助役：交付税も減額されており、効果の再検証が必要と考える。
	(2) 「自治のかたち」職員研修参加者アンケート調査集計結果について<別添資料参照 >
	企画財政課長：職員研修として「自治のかたちプロジェクト報告」を実施し、この参加者に対するアンケート集計を行った。結果は資料として添付のとおりであり、年代、性別で特徴あるものとなったので、職員に周知願う。
	(3) 指定管理者制度の適正運用について
	助役：平成18年4月1日から4施設が、2業者による指定管理者制度に移行している。指定管理者制度は、サービス向上と費用の効率化を効果として求めるものであるが、条例等の規定が足かせとなって、この求める効果が発揮されないという実態が耳に入ってきている。状況に即した条例等の改正を検討してもらいたい。
	町長：本来基本的部分を条例で、この運用については規則で定めるべきだが、実態では条例本文に施設の営業期間や時間等が規定されている。規制緩和の時代にあるので、弾力性のある指定管理者業務ができるよう措置してもらいたい。
	(4) 行政サービス制限条例について
	助役：6月12日開催の総務文教委員会に条例素案の説明を行うが、現在の検討状況を共有したい。
	税務課長：保健福祉課の事業である「元気はつらつ」以下4事業について検討し、結果として対象から削除することにした。この結果対象事業は66事業の予定である。
	保健福祉課長：現在までの検討結果で納期ごとの制限の方針になっているが、実務レベルでの処理を考えると、煩雑なことから現場で混乱が予想されるため、年度管理についても再度検討を加えてもらいたい。
	建設水道課長(代理)：町営住宅の車両保管場所の制限についても除外すべきという部署内検討結果であり、削除について協議したい。

内 容	<p>助役：適切に運用できる制度とすべきである。多くの事業を扱う複数の部署で、早急にシミュレーションによる運用検討を行ってほしい。</p>
	<p>(5) 5月28 - 29日大風被害について</p> <p>産業振興課長(代理)：先日の大風被害の中間とりまとめを出したので報告する。被害範囲は町内一円で、農業ハウス 58件(120棟×35万円=4,200万円)、作物ではメロン 1,500万円、イチゴ・スイカ 250万円の合計 1,750万円、被害面積は 200aとなっている。被災者の内、農業共済加入者は 40%である。</p> <p>町長：このような農業被害に対応するために、共済制度がある。加入者と非加入者を同様に救済するつもりはなく、共済加入を促進する方向で取り組んでもらいたい。</p>
	<p>(6) 町内テレビロケの実施について</p> <p>産業振興課長(代理)：H T B制作全国ネット放送のポップ・ビール麦耕作農家の「家族愛情物語」をテーマとした番組ロケが本町で実施される。出演者は大泉洋、高野志穂、前田吟、倍賞美津子等、ロケは7月17～25日、放送は8月26日(土)午後3時～3時55分の予定である。</p> <p>町長：ロケを誘致したわけではなく、上富良野町を選んでくれたということを考慮して、最大限の支援・協力体制を取ってもらいたい。</p>
	<p>(7) 上富良野高校事務長不祥事について</p> <p>教育振興課長：5月25日に上富良野高等学校事務長の公金横領が報道された。学校で経理する道費及びP T A会費のほかに、上富良野町が補助している教育振興会会計にまで及んでいる。6月1日に教育振興会臨時総会を開催し、平成15年度会計分27万円の弁済請求を行う予定である。</p>
	<p>(8) 建物耐震対策状況の公表について</p> <p>教育振興課長：各市町村の公共建築物の耐震対策状況が、6月3日に公表されるという情報を受けた。上富良野小学校、中学校、役場庁舎の3施設が対象だが、棟ごとの公表数となるので大きな数字として公表される見込である。</p>
	<p>(9) 全道高校柔道大会の開催について</p> <p>教育振興課長：6月20～23日の日程で、社会教育総合センターで全道高校柔道大会が開催されるのでお知らせする。</p>
	<p>以上終了。(11:30)</p>